

# コロナ禍で困窮した大学生を救う「キャンパスライスプロジェクト」 (北海道沼田町)

## ○事例概要

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、全国の大学生がアルバイトや親からの仕送りが減る等の理由により、生活に困窮しているとの報道から、当町の「雪中米ゆめぴりか無洗米 2kg」を全国の大学生約 2,000 人に提供するため、ふるさと納税型クラウドファンディングを実施した。
- ・全国 800 の大学に応募チラシの掲示を依頼し、学生はそのチラシに記載されている QR コードから簡単なアンケートに答える電子申請を行い、その中から支援対象の学生を選定した。



## ○寄付実績

令和 3 年度 8,914 千円

## ○事業効果等

- ・全国から 241 件、寄付額 8,914,120 円が集まり、新型コロナウイルスの影響で生活が困窮する大学生 2,278 名に雪中米を送ることができた。
- ・SNS 上では、支援を受けた大学生から寄付者や当町へ感謝の言葉が多数寄せられ、それらを町の広報誌で紹介し、町民のシビックプライドの形成を促した。
- ・支援を受けた大学生からは「コロナが収束したら、沼田町に行きたい」「雪中米早く食べたい！」など、今後の関係人口拡大に向けた糸口となった。

## ○事業の評価

- ・新型コロナウイルス感染症により、大きな影響を受けた大学生を支援することで、大きな反響を受けている。利害にとらわれず、困窮の支援という有効的な活用をしている。
- ・感謝の言葉を広く周知することで想いの相互的やり取りがなされている。

# 6次産業化研究・開発施設「S-Lab（エスラボ）」による産業振興 (茨城県境町)

## ○事例概要

- ・当町では地場産品開発を目的として、干し芋など年間を通して販売できる境町独自の特産品をつくり、地場農産物の6次産業化を推進する研究開発施設「S-Lab」を建設した。
- ・当施設で開発された特産品はふるさと納税の返礼品として出品しており、町の新たな収入の増加につながっている。



## ○寄付実績

令和元年度 13,250 千円

令和2年度 110,929 千円

## ○事業効果等

- ・干し芋の開発により新しい産業が生まれ、令和元年度に14名、令和2年度に39名の新たな雇用を創出するなど好循環サイクルを創出している。
- ・令和元年度からふるさと納税返礼品として受け付けている干し芋セットの申し込み数は合計で10,000セットを超え、1億円以上の寄付をいただいた。申し込みが好調であったことから町内でのサツマイモ栽培数も増えている。
- ・施設で開発した干し芋は近接する干し芋カフェで提供・販売する商品にも使用している。
- ・S-Labは境町に建てられた隈研吾氏の建築物第3弾でもあり、隈建築を見るために境町を訪れる人もいるなど、町の新しい観光拠点にもなっている。

## ○事業の評価

- ・地場産品開発を目的に建設された施設であり、開発された特産品を返礼品として取り扱うなど、全国でも有数の取り組みである。
- ・産業特性を活かして、雇用・所得を獲得し、魅力ある地域資源を発信し、積極的に人と仕事を呼び込む施策に活用している。

# みよたんクエスト

(長野県御代田町)

## ○事例概要

- ・「みよたん」は御代田町の観光協会キャラクター。最初は、生まれたばかり「レベル0」(0歳)のみよたんが、レベル1到達のために必要な寄付金を集めると、「レベル1」(1歳)に成長し見た目が変化する。
- ・各レベルには具体的な事業が充てられており、レベルが上がるにつれてまちづくり事業が実施される。
- ・みよたんのイラストを作成してくれたのは長野県内のデザイン専門学校である岡学園トータルデザインアカデミーの学生。みよたんそれぞれに町の特産品などをイメージして描いてもらった。



【Lv.03】【達成】誰もが暮らしやすい社会へ 福祉応援プロジェクト

【達成金額】2,722,000 GOLD【実施時期】令和3年度以降【分野】福祉  
自動車免許返納者に対しタクシー券を交付します。障がい者合同販売会を役場町民ホールなどで開催します。担当[...]

## ○寄付実績

令和元年度	109,000千円
令和2年度	233,131千円

## ○事業効果等

- ・令和2年度はレベル30までのみよたんプロジェクトを用意し、目標額を達成した。
- ・「みよたんクエスト」を通し、寄付の使い道を完全透明化し、返礼品だけではなく寄付満足度を上げることにより、リピーターにもつながった。

## ○事業の評価

- ・レベル(寄付金)ごとに具体的な事業が充てられており、文字通りクエスト感覚で事業が実施されるなど、同一寄付者が複数回寄付を行いたくなるような工夫もされている。
- ・産官学の連携がなされており、自治体だけでなく全員が地域のために活動している。

# 本能寺の変プロジェクト 2020「急募！明智光秀×福知山サポーター」 (京都府福知山市)

## ○事例概要

- ・地元ゆかりの武将・明智光秀の大河ドラマ放送とコロナ禍が重なり、千載一遇の機会を失いかける。そんな中でも挑戦を続ける福知山市のサポーターになってほしい。そしてコロナが落ち着き麒麟がくるような平穏な世の中になったら、一度訪れてほしいとの思いでふるさと納税型クラウドファンディングを実施した。
- ・3,449人のサポーターには、福知山城&光秀ミュージアムの無期限招待券と、光秀からの信頼の証としてSNSで大反響となった【謀反のお知らせハガキ】をお届けした。



明智光秀が築いた福知山城(写真は2019年)

## ○寄付実績

令和2年度 11,487千円

## ○事業効果等

- ・寄付金は、2020年度の光秀事業に活用
  - 【現地】密回避の観光策、常設展示の充実など
  - 【オンライン】福知山城特設サイトの開設、オンラインイベントなど
- ・サポーターからは「初めてふるさと納税をした」「福知山ファンクラブも申し込んだ」との声があり、様々な行動変容のきっかけとなった。既に400人以上が特典を利用して福知山に訪れている。

## ○事業の評価

- ・大河ドラマの放送を契機に地域のPRに取り組んでおり、関心を集めやすいように工夫された取り組みである。
- ・企画から制作・目標達成まで面白く、話題性から自治体の活性化、自治体の認知など交流・関係人口の拡大につながっていると思われる。